

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門基礎	公衆衛生学	1	20	2年次前期	非常勤講師

テキスト(発行所)	《系統看護学講座 専門基礎分野》健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生 (医学書院)
	「公衆衛生がみえる」医療情報科学研究所 編集 (株式会社メディックメディア)

学習のねらい	地域住民の生(生命・生活・生産)を衛するための幅広い学問体系からなる公衆衛生を理解し、地域の健康度及び個人の健康の維持増進を目指す組織的な取り組みである種々の公衆衛生活動を理解する。
学習目標	公衆衛生の理念や幅広い学問体系からなる公衆衛生の視点から、自分の立つ地域社会・国・世界の人々のいのちと健康について考える力を養う。 また、社会の背景や動向と様々な健康支援のあり方を学び、健康の保持・増進と疾病等の予防について理解する。

回数	主 題	履修形態 他
1回	はじめに —いのちと公衆衛生—	テキスト序章・第1章
2回	公衆衛生の理念 —健康と人権—	テキスト第1・2章
3回	公衆衛生の基礎 —疫学と健康指標—	テキスト第6章
4回	環境と健康	テキスト第4章
5回	社会保障制度及び医療制度	資料
6回	グローバル化する世界と公衆衛生—国際保健—	テキスト第5章
7回	公衆衛生のしくみと地域保健及び社会の背景と母子保健	テキスト第3・7章—A
8回	社会の背景と成人保健・老人(高齢者)保健	テキスト第7章—B・C
9回	社会の背景と精神保健・歯科保健・難病等支援・学校保健・産業保健	テキスト第7章—D・E・F テキスト第8・9章
10回	感染症の動向と感染症対策及び災害保健・健康危機管理	テキスト第7章—G テキスト第10章
単位認定の方法	1. 20時間のうち、16時間以上の出席があること。 2. 宿題は評価の対象である。配点20点。 3. 最終試験を実施する。評価の配点は80点。	
受講上のアドバイス	1. 宿題は次回の授業時に提出のこと。また、宿題は返却する。 2. テキスト(公衆衛生・公衆衛生がみえる)の該当範囲の予習をして授業に臨むこと。 3. 授業はテキスト及び当日配布の資料を使用し、パワーポイントなどの媒体は使用しない。テキストや資料の活字を熟読し講師の話を聴いて理解に努めること。 4. 質問等は授業中並びに授業前後に行うこと。	